

〇〇邸床補修工事報告書

平成17年1月26日

1. 依頼内容 障子が倒れてしまうので直してほしい。
2. 不具合の原因 現地調査の結果、障子の部分の敷居が両側に対して25ミリ下がっている。沈下の原因は束石の転圧不足と間隔の大きさと考えられます。
3. 補修工事の内容 普段使用しない部屋であり、予算を少なめとの依頼のため、近年一般的となった床下の防湿コンクリートは省略する。現在床下は十分に乾燥しているので、防湿コンクリートは不要と判断します。
別図で示すように不足している束を追加し、高さを再調整するのが主な工事となります。
工事にともない、畳、床板は一時的に撤去する必要があります。
工事は作業員2名で概ね1日の作業です。

報告者
〇〇△建築
大工のとうちゃん



写真1

地盤沈下のため床束の下に隙間が発生している。

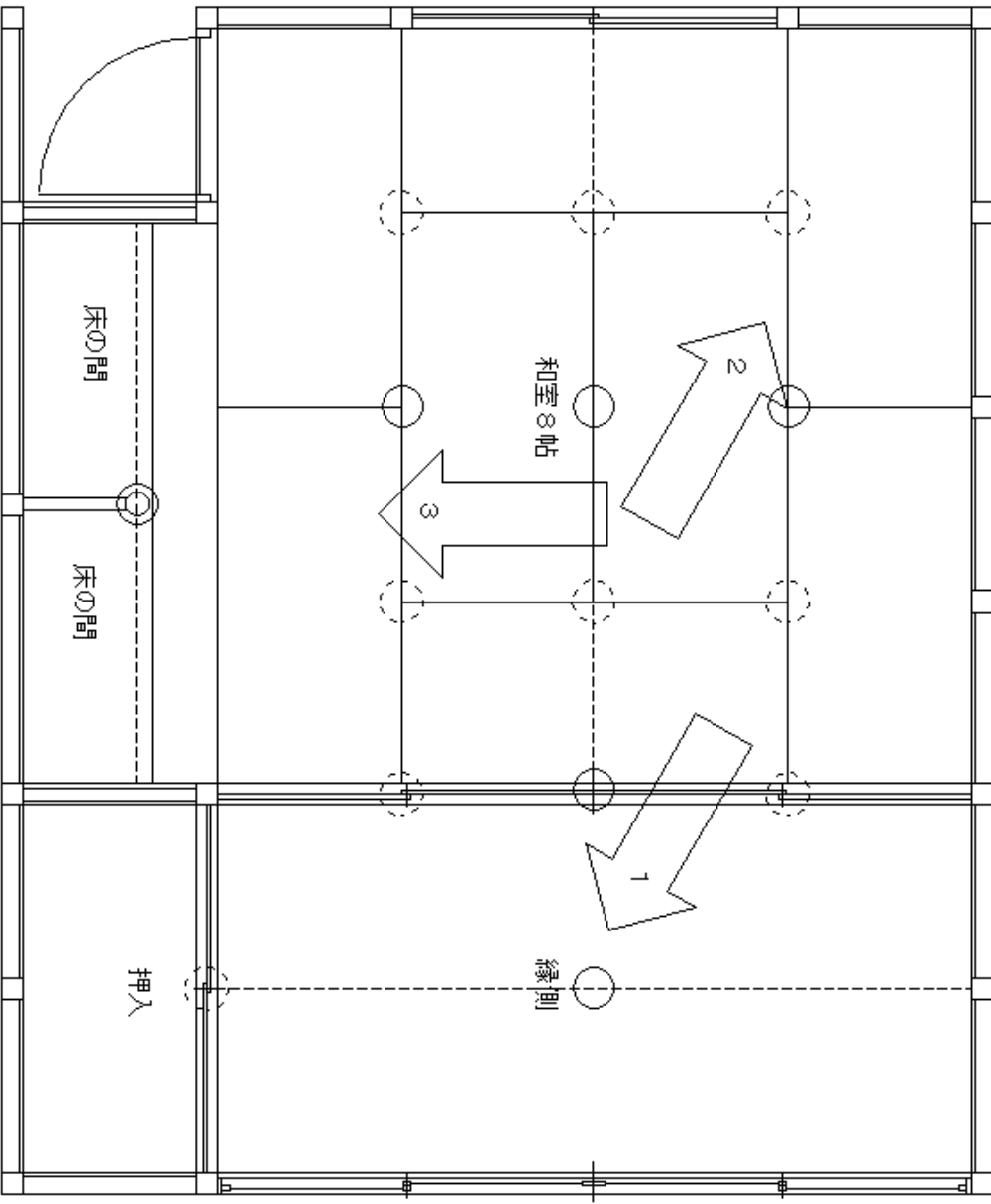
写真2

本来3尺間(910ミリ)間隔に床束を入れるべきだが、6尺間(1820ミリ)間隔になっている。
また、高さの調整のため薄い板が入れているが、荷重により縮んでしまう可能性がある。



写真3

押入方向の写真
この方向も床束の間隔が広い。
中央に見える材木は上からぶら下がっているだけで床束ではない。



○ 既設床

○ 床兼今回追加分

----- 大引き(既設)